

## 地域包括ケアネットワーク No.94

## 玉野市の地域包括ケアシステム 主に認知症施策を中心に

玉野市医師会地域包括ケア(介護保険)担当理事 河口 礼子

玉野市では医師会、市長寿介護課、地域包括支援センター、社会福祉協議会等を中心に様々な事業を展開しております。在宅医療・介護・権利擁護推進部会(医師・歯科医師・薬剤師・介護施設・消防士などのほか権利擁護ネットワーク懇談会の代表)を中心に地域ケア推進会議・小地域ケア会議や地域・保健・福祉相談窓口連絡会・なんでも相談会などを開いております。ここ2年ほどはコロナ禍のため十分に開催できなかった部会やリモートで行った部会もあります。

私自身が認知症施策に深くかかわっていることもあり、今回は主として認知症施策についてご紹介したいと思います。

平成28年度から初期集中支援チームを立ち上げ、認知症サポート医、保健師、介護福祉士などでチームを作り、医療・介護につなげていない認知症高齢者を訪問し、医療・介護につなげていく活動を行っております。月に1度チーム員会議を開き、検討し、サポート医が訪問したほうが良ければご自宅まで伺うようにしております。

また、認知症カフェを月1度開催し、コーヒーやお茶を飲みながら心配ごとをざっくばらんに話し合うこともしております。

玉野市の令和4年9月の人口は約56,000人、65歳以上人口約22,000人、高齢化率38.9%、認知症者推計3,966人、要支援・要介護者数4,449人。今後10年ごとに前2者は減少しますが、後3者は上昇すると推定されています。典型的な超高齢化社会の状態、高齢者の4人に1人が認知症になる時代を迎えます。このような現状を踏まえ、高齢者や認知症者を地域で支えようとする動きが活発にみられ、玉野市を11の地区に分けそれぞれに地区社協を立ち上げようと試み、現在7地区に地区社協が立ち上がっています。また、4つの地区に住民主導のボランティアセンターが立ち上がり、10分100円のチケットを作り、困りごとをお手伝いするシステムが出来上がり、利用者も増えてきて「とても助かる」と好評な反面、まだ近所の人に知られたいくないと利用を控えておられる方も多いようです。

また、認知症の方の困りごとを支援し、見守り、声かけ、話し相手や外出支援などしていくチームオレンジが令和3年度に1カ所立ち上がり、令和4年度にもう1カ所立ち上げる予定です。認知症になっても、住み慣れた地域の中で暮らしていける地区と一緒に作っていきたいという願いから立ち上がったものです。メンバーは、専門職のコーディネーターや認知症サポート医によるステップアップ研修を終了した認知症サポーター(認知症アドバンスサポーター)に加えて、認知症の本人・家族も参加し、認知症の人の社会参加や早期から継続した支援を行います。今後、各地区に1カ所設立を目指しております。

また、令和3年6月から玉野市成年後見支援センターが市役所長寿介護課内に設立され、令和3年度は、85件の相談があり、そのうち20件が市長申し立てとなっております。そのうちの大半が認知症です。

今後、玉野市で認知症になっても安心して暮らせる、認知症になってよい社会になることを目指して頑張る所存であります。